

木工家として「nogake」ブランドで飛躍 【INPIT 鳥取県知財総合支援窓口】

企業情報

銘木工房ゆら木

所在地	鳥取県鳥取市		
ホームページ URL	https://kobo-yuragi.com/		
設立年	2016 年	業 種	その他
従業員数	1 人	資本金	-

企業紹介

銘木工房ゆら木は、代表者である表飛悠人（おもて ひゅうと）氏が、バイオリン製作の世界で3年半技術を磨き、2016年に音楽雑貨製作として創業しました。現在、チェロ演奏活動も続ける中、木工家としてオーダーメイド中心の木工製品の製造を行っており、国内で数少ない「よろず木工屋」とし実績を重ねております。

相談のきっかけ

2020年自社オリジナル商品第1号として木琴を開発されました。そのプロモーションのため、YouTube（登録商標）において演奏に使用する楽曲の著作権の取扱いに関し、INPIT 鳥取県知財総合支援窓口にご相談にいられました。

支援概要

上記著作権の相談については、専門家（石黒一夫氏）を派遣し対応しました。その後、木琴の名称について専門家（中西康裕弁理士）による助言を行い、商標登録（ゆらフォン 登録6293474）に至りました。

コロナ禍では、飲食店用仕切り版、アウトドア商品が好評でメディアへの露出も多く、ブランディング戦略の一環で屋号（ゆら木）とアウトドアブランドについても専門家派遣（中西弁理士）を行い、商標登録（屋号（ゆら木）、アウトドアブランド（Nogake 登録6497534））に向けて助言しました。

2023年7月に、木製のカプセルトイ（通称ガチャガチャ）の商品を開発したことをきっかけに再訪しました。高さが170cmで屋根は方形屋根、木札を用いた「からくり構造」のユニークな商品で、今後、商品のプロモーションを進めて拡販したいとの意向があり、専門家（中西弁理士）による知財ミックスの支援を行い、商標登録（因伯雅茶・いんぱくがちゃ 登録675934）、意匠登録（意匠登録1760512）、実用新案登録（実登3249560）に向けて支援しました。



因伯雅茶®

支援成果

本製品は、製品購入とリースの二通りの販売方式で進めています。現在まで全国都道府県のイベントの 46 会場に出展して好評を得ており、リースが伸びています。苦節 10 年ようやく木工家として自慢できる商品が完成し、2024 年には大手企業より環境問題取組をアピールできる良い商品であると評価され、継続した注文の依頼があります。

また、屋外のサウナブームもあり、アウトドアブランド（Nogake）のサウナラドル・サウナマット・ととのい椅子の販路も拡大しつつあり、2 年後には事業全体として売上げ 2 倍を計画しています。

企業コメント

世の中にほかにないものができたとき、それを最高の形でリリースするため、あるいは知財を守るためにはどのような手を打つのが最善なのか。個人で戦う日々の中、これまで幾度となく助けていただいた頼れる窓口です。今後ともよろしく願いいたします。

支援担当者コメント（氏名：上田等）



“木だからできることがある” のコンセプトによる独創的な製品を知的財産で守り、事業拡大に活用する意識が高く、販促支援を行うことにより大きく飛躍することを期待しています。